

【令和7年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ事業】

「ダイバーシティ理系選択応援プロジェクト」

出前授業実施報告

日 時：2025年12月5日(金) 10:45～11:35

会 場：香川大学教育学部附属坂出中学校

講 師：香川大学教育学部 高木由美子教授

参加者数：生徒35名、教員3名(実験)

大学・地域共創プラットフォーム香川「ダイバーシティ理系選択応援プロジェクト」第2回目の出前授業として、中学2年生を対象に「マイクロスケールケミストリー入門—大気汚染モデル実験」を開催しました。

マイクロスケール実験は、1) 使用する試薬が軽減され、環境に優しい、2) 個人で実験できる。場所を選ばない、3) 安全で安価な器具を使用、4) 様々な実験条件が設定可能で創造性、問題解決能力、科学的思考能力を育てる、5) 教師が実験を通じて学生の到達状況を的確に評価できる、6) コンセプトに合わせて調整が容易で、災害、感染症にも対応できるなどのメリットがあります。

理科教員からは「さまざまな試薬を使った実験ができてよかった」「次は大学での実験に参加したい」との声がありました。日本で理工系分野における女性人材が少ない原因の一つにロールモデルに接する機会が不足していることが挙げられています。附属学校での活動を通して今後の生徒の自由な職業選択に繋がることを期待されています。

